

魔法の宿題 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名:山口 忍 所属:大分県立大分支援学校 記録日:2016年 2月25日

キーワード:知的障がい、社会生活、動画による確認、動画作成

【対象児の情報】

・学 年 高等部1年生 女子

・障 害 名 知的障がい

・障害と困難の内容

- ・活動の仕方などを説明した直後に同じことをたずねたり、調べて確認したことを聞きに来るなど、知っていることや理解していることでも母親や教師に逐一確認をする。
- ・初めてで見通しを持ちにくい状況や急な予定変更があった時に、大声を出すなどして不安になる。
- ・発表をするなど、人前で何かをすることを極端に嫌がる。

【活動目的】

・当初のねらい

認められると不安感が減り、確認をすることなく一人で考え行動することができることから、①まずは自分で確認できる場面を増やす②認められる場面を増やし自信をつけ自己肯定感を増やす、ことが有効ではないかと考える。

・実施期間 2015年6月3日～2016年2月

・実施者 山口 忍

・実施者と対象児の関係 クラス担任と生徒

【活動内容と対象児の変化】

・対象児の事前の状況

【対象児の実態】

- ・近隣の中学校の特別支援学級を3月に卒業し本校に入学。
- ・作業など、一定の決まった行動を繰り返すような活動は、手順が複雑であっても一人で自信を持って進める。
- ・作業学習で「上級生より作業が上手と褒められた」と授業後に嬉しそうに報告するなど、教師に認められることを非常に喜ぶ。
- ・掃除の仕方の動画を見せて実践させた際、上手にできたことから認めると、その後教師に確認をすることがなく一人で作業することができている。

【対象児の困難】

- ・活動の仕方などを説明した直後に同じことをたずねたり、調べて確認したことを聞きに来るなど、知っていることや理解していることでも母親や教師に逐一確認をする。
- ・初めてで見通しを持ちにくい状況や急な予定変更があった時に、大声を出すなどして不安になる。
- ・発表をするなど、人前で何かをすることを極端に嫌がる。

【実態に基づく指導の方向性】

小3（通常学級在籍）の時に担任の先生からできないことをきつく言われたり、別扱いされたことをきっかけに自信を失っていった。小5から支援学級に在籍。小4の最初のころは自分の名前をみんなの前でいうことができない状況があった。そのころから確認を頻繁にするようになった。

認められると不安感が減り、確認をすることなく一人で考え行動することができることから、①まずは自分で確認できる場面を増やす②認められる場面を増やし自信をつけ自己肯定感を増やす、ことが有効ではないかと考える。

・活動の具体的内容

【学習目標】

- ① 初めての場面や、不安を感じる場面でカメラアプリを使って板書や作業の仕方などを撮影し、「自分マニュアル」を作って自分で確認する。
- ② 家庭(被服)の動画マニュアルを自分で作成し、「大分支援チャンネル」にアップすることで、家庭でも同様に作業の復習を行う。



iPad で撮影した宿泊学習の内容をしおりに書き写す様子

・対象児の事後の変化

1. 自分で確認できる場面を増やす取り組み

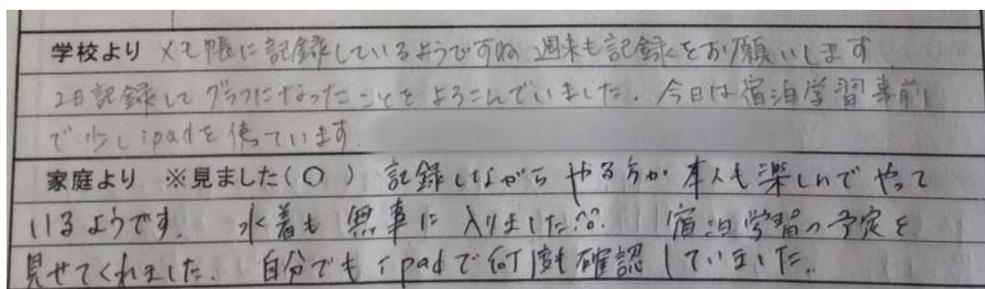
「自分マニュアルの作成」

- (1) 宿泊学習で予定やメンバーを写真に撮影し見返す
- (2) 授業(音楽・作業学習)で見本を撮影し見返す
- (3) 部活動(陸上)で見本を撮影し見返す
- (4) “MyPhotoHD”を使用した自分マニュアルの作成



“MyPhotoHD”で作った自分マニュアル

iPad を持って行くタイミングを教えると2週間程度で生単の事前学習や音楽の授業に自分の判断で持って行くようになる。事前学習で行事のスケジュールやメンバーを写真に撮り、何度も見返していた。宿泊学習ではiPadを見る余裕もないほど慌ただしいスケジュールだったが、落ち着いて行動することができた。授業や部活動では教師の見本を撮影し何度も見返している。データ量が多くなると“MyPhotoHD”というアプリを使いフォルダ分けして自分マニュアルの作成(情報の整理)を行った。



使い始めて1ヶ月頃の連絡帳より。保護者から「宿泊学習の予定を見せてくれました。自分でもiPadで何度も確認していました。」とのこと。



見通しなどを撮影



空いた時間に何度も見て確認

それを繰り返すことで…

- ・確認がほとんどなくなった!
- ・落ち着いて行動することができるようになった!

2. 認められる場面を増やし自信をつけ自己肯定感を増やす取り組み(iMovie 使用)

家庭で動画マニュアルを作成し「大分支援チャンネル」にアップする

被服の授業で使う”糸通しの使い方”動画を撮影。見やすくなるようにテロップを入れて工夫し動画を完成させる。12月の授業の際、他の生徒に「〇〇さんが作りました」と言って動画を見せると「オー」という声が他の生徒から出る。その後”大分支援学校チャンネル”にアップしたものを、家庭で見ているとのことである。

学習発表会で動画作成

学習発表会では、幕間に流す準備風景の動画と、学年の劇中の動画2本を友だちと2人で作成し、校長先生や保護者・友だち・教師から賞賛され、非常にうれしそうなお様子だった。「先生、次は陸上部の動画を作るよう言われたけん」と自信を持って取り組む様子が見受けられるようになった。

作業学習での取り組み

作業学習(窯業)で、教師の見本動画を撮影し何度も見返すことで、自信を持って作業学習へ参加することができるようになった。作業担当の教師からは「1か月で作業の確認などもなくなり、上手にできている」とのこと。本人も「スライスはできるようになった」と自信をもって取り組んでいる様子が伺える。



家庭(被服)動画マニュアル作成の様子

「iMovie」を使った動画作成を通し“自己肯定感を増やす”“自分に自信をもつ”ことを狙いとした。最初は作業学習の動画を編集。2学期には教師がいなくても自分一人で「iMovie」を使い動画編集できるようになり、11月に行われた学習発表会では幕間と劇中の動画2本を自ら作成し、教師や保護者などから賞賛を受けた。そのことが相当自信になったようで、その後「大分支援学校チャンネル」に被服の動画を教師と共に作成しアップしたり、「次は陸上部の動画を作るよう言われたけん、がんばる」など”動画作成は私の仕事”という意識を持つようになり、自信を持って取り組むことができるようになった。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

(1) 自分で確認できる場面を増やすために行事の予定などを写真で撮影し、何度も見返すことで、他者（教師や保護者）に確認する回数が減少した。

(2) 認められる場面を増やし自信をつけ自己肯定感を増やすために、学習目標②の動画を大分支援チャンネルにアップした。授業の内容上1本しかアップできなかったが、同じ学年の生徒からは歓声が上がり、先生に誉められることで非常にうれしそうにしていた。

・エビデンス(具体的数値など)

(1) 保護者によれば『他人に不快な思いをさせることなく(何度も同じことを聞かれるとイライラする)、**何度も何度も気の済むまで見返すことができるから、iPadが本人に合っているのではないか**』こと。学校では休み時間に、家でも見返していた。

(2) 大分支援チャンネルの他に、学習発表会の動画2本を友だちと作成し、当日に流した。校長先生をはじめ多方面から賞賛を受けた。学習発表会で動画作成することで、iPadでの動画作成がこの学年では彼女の担当となり、「**これから動画作成はあなたの担当ね**」という教師の言葉が強い自信となった様子。「先生、次は陸上部の動画を作るよう言われたけん」とうれしそうに話していた。

(3) 作業学習(窯業)や音楽の授業で見本動画を撮影し何度も見返しながら手順を確認することで、**落ち着いて行動することができる→うまくできるようになる→誉められる→自信につながる**ようになった。

③ 学校でiPadを使い始めてから今までは心配な事は先生に聞くしかなかった事が自分で確認出来るという事が学校生活の中で心配し過ぎて(もう所がある)に比べてはいろんな事に自信を持って取り組めてきているのではないかと思います。

「学校で彼女がiPadを持つことで、以前と変化を感じることはありますか？」という問いに対する保護者の答え

○今日の学習をうけて、今の自分をどう感じますか？

ア. イパッドがすごくいいになりました。

生単の授業後のアンケートより

写真アプリで確認する→何度も気の済むまで確認できるから、落ち着く
動画作成等で周囲に賞賛される→自信を持って行動できる



・その他エピソード(画像などを含めて)

その他アプリの活用

「はじめてかるた」…百人一首のアプリ

授業で百人一首をしたことから「先生、iPadで百人一首はできんの?」と言われアプリをダウンロードした。音声で読み上げ、正しい札をとるアプリで、読み上げをしてくれる機能が気に入った様子で休憩時間や家で一人で使っていた。



「見た目日記」…体重管理のアプリ

毎日自分の体型を写真に撮り、体重と一緒に記録していくアプリ。入学当初から体重を非常に気にしておりiPadが使えるようになった6月～記録を開始した。定期的に写真データをムービーにできる機能もついていることから体型の変化がわかりやすく、気に入って使用している。4月から比べると9kgの減量に成功している。



その他

- ・今ではお守りのようにiPadを持ち歩き必要に応じて使用している。
- ・来年度も引き続き、事前学習での写真撮影→何度も見返す、見本動画作成、教師からの依頼による動画作成を今後も継続して行いたい。
- ・保護者が来年度iPadを購入予定。学校では、このiPadを使用し活動を継続する予定。